



上江洲一平さん(22期生)

る各種のカンファレンスや症例数の多さ、3年目の後期研修医が8人残ったこと！外科症例の多さ」等が紹介されました。名嘉村先生からは「中頭病院のやはり症例数・救急

車数の多いこと、研修医自身でもカンファレンスを立ち上げている積極性や、感染症内科、消化器内科、外科等は特にお勧めかも！」等のお話でありました。星野先生からは「中部病院が“Generalist であれ！”を理念の柱とし、1年目は救急室で平均1,200名の患者を診て、2年目は病棟全患者の担当医となり“屋根瓦方式”での指導体制が整っていること。当直も多く大変な面はあるが、医療を身体で覚え、食欲で・フットワークが軽い人にはピッタリである！+産婦人科の紹介」等の話がされました。

これら5ヶ所の病院はどこも、指導医が多く、症例に関してのカンファレンス等が盛んに行われている様子が伝わってきました。

また学生からは、各種専門科を選び決定した動機や経緯、研修病院を選んだ理由や勉強法等についての質問がありました。5人の演者が次々に皆自分なりにじっくり考え解答してくれました。

19時より21時過ぎまで活発な講演会となり、5人の演者の3年目の先生方が各病院にて充実した初期研修の日々を送ってきて、そして現在も充実した後期研修の日々送っていることがひしひしと伝わった講演会となりました。学生達には自分達の研修病院選択の大きな良い参考情報となったものと思われます。

また来年度の講演会のあり方・計画について、同窓会としても今回の講演会も参考に、多くの意見を集め様々な面から検討していきたいと思えます。



日名太一さん(22期生)

「第7回学生向け講演会」に参加して

水野遼子(6年次)

こんにちは。医学科六年次の水野遼子と申します。

5月20日に行われた同窓会主催の臨床研修3年目の先生方による講演会を聴講させて頂きました。

県内の病院で初期研修をしようと考えている学生にとって、有意義な講演会だったと思いますので、講演会の内容と自分の感想を少し書かせていただきたいと思います。

県内の5つの病院で初期研修を終え、そのまま同じ病院に残って後期研修医として働かれている卒業生5人の先生方による講演会でした。



会場の様子